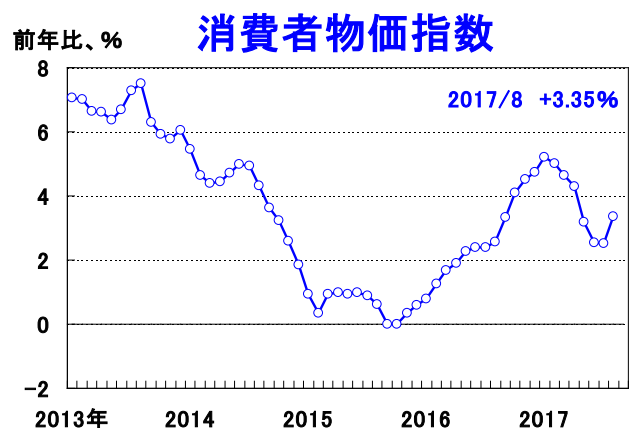
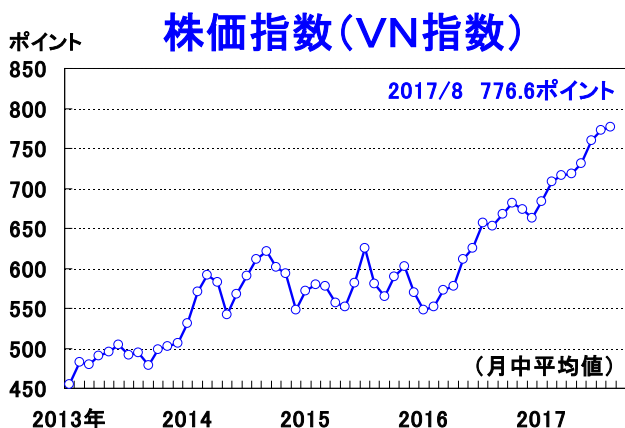
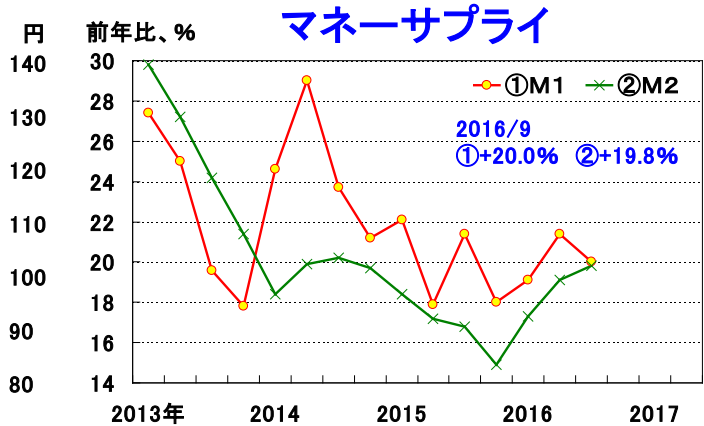
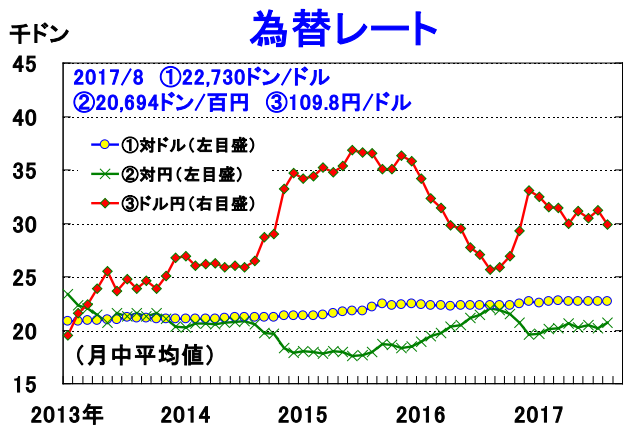
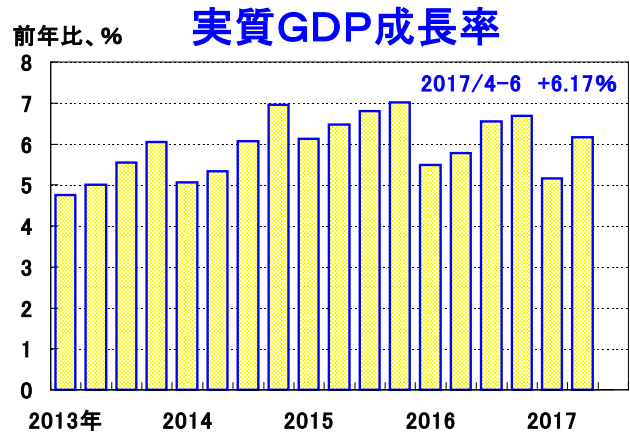
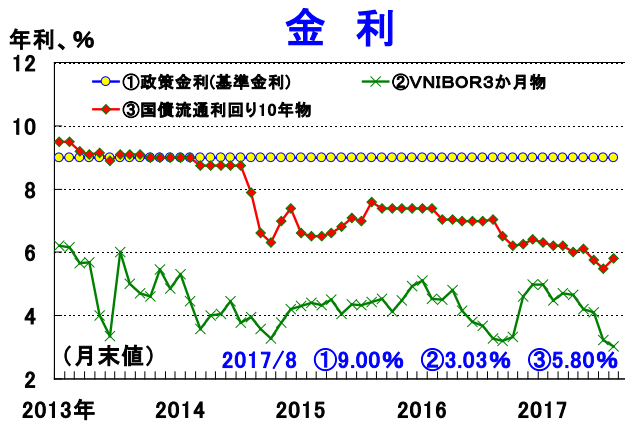


グラフで見るベトナム経済 2017年9月号(No. 92)

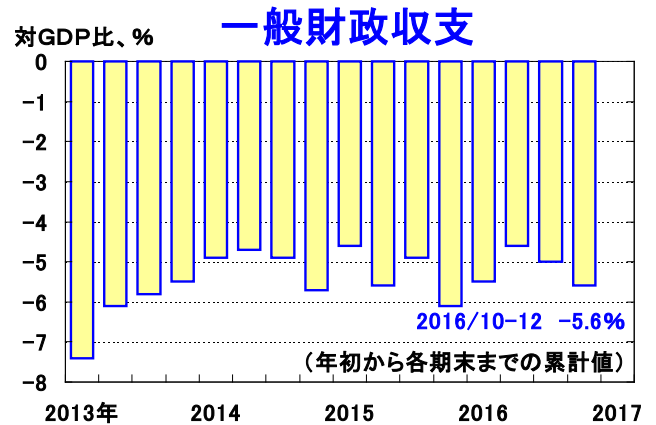
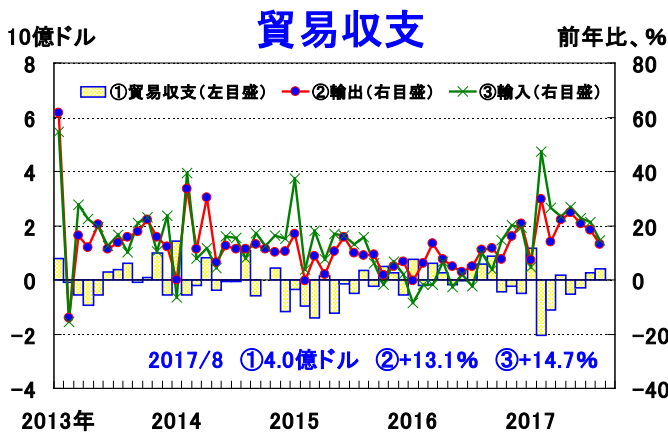
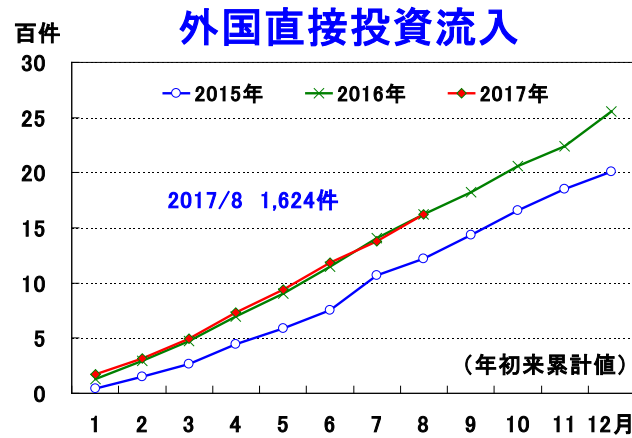
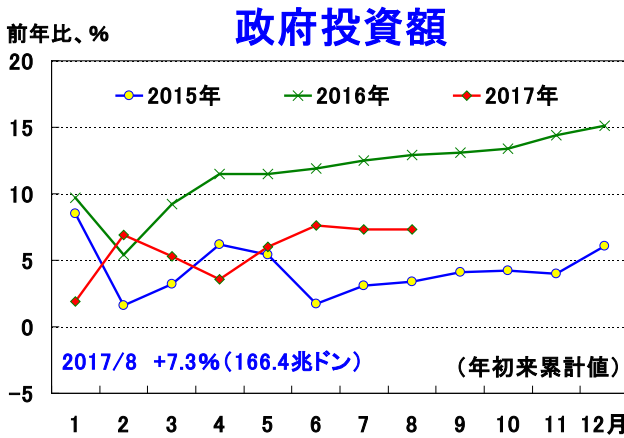
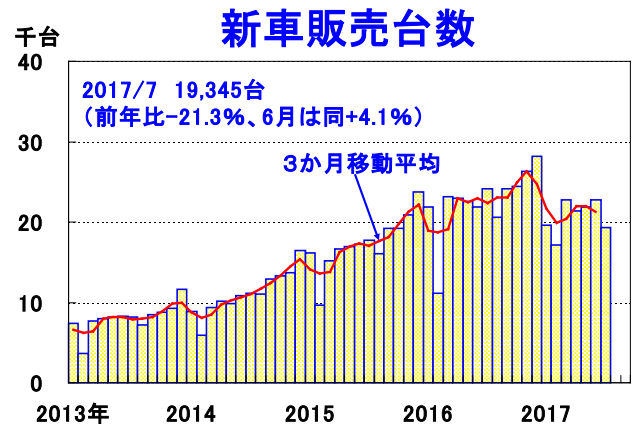
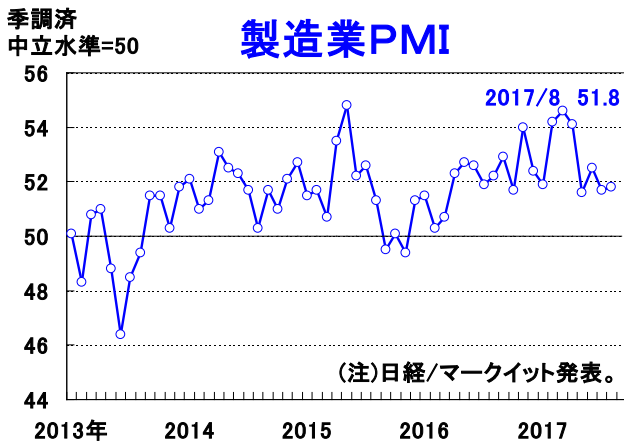
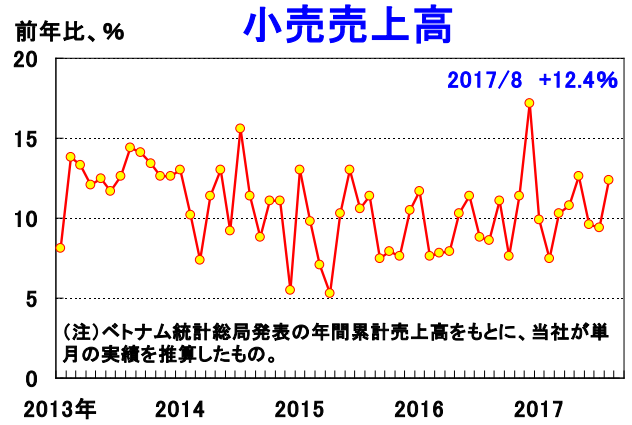
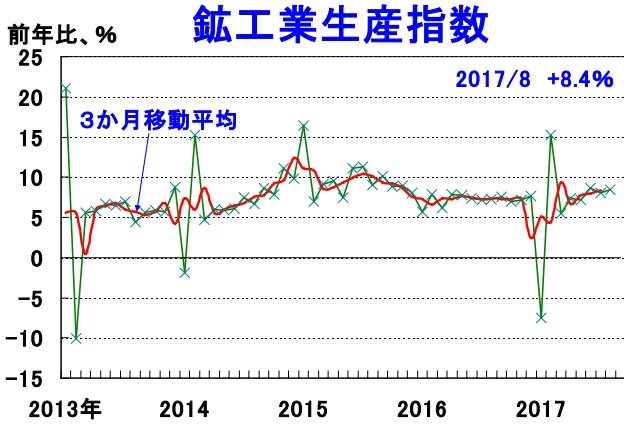
ベトナム景気は緩やかな回復基調にある。まず、企業部門では、8月の輸出が前年比+13.1%と3か月連続で減速したものの、同月の鉱工業生産は同+8.4%と前月の伸び(同+8.1%)を若干上回った。また、8月の製造業PMIは51.8(前月は51.7)と、21か月連続で中立水準の50を上回っている。内訳をみると、「生産」と「新規受注」がともに前月を上回った。次に、家計部門をみると、7月の新車販売台数が前年比-21.3%と減少に転じたものの、8月の小売売上高は同+12.4%(前月は同+9.4%)と3か月ぶりの高い伸びとなった。



【今月のトピック: 直接投資が昨年の通年実績に接近】ベトナム計画投資省外国投資庁によると、8月20日時点の海外からベトナムへの直接投資の年初来累計額は233億ドルとなった。これは2016年通年の実績額である243億ドルに迫る水準である。国別の内訳をみると、1位が韓国、2位が日本、3位がシンガポールとなっている。ベトナムは米国のトランプ政権のTPP脱退による悪影響を強く受けることが懸念されている。このため、ベトナム政府は海外の専門家による経済政策の助言を活用しながら、直接投資の拡大を図っている。

(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。